

## 第2章 本県におけるがんの現状

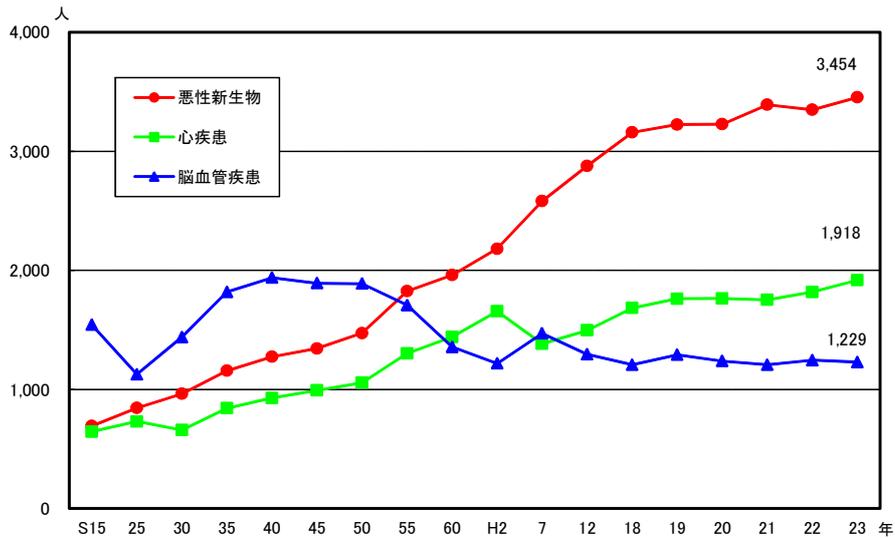
### 1 死亡の状況

#### (1) 死亡数

本県では、昭和55年から、がんが死亡原因の第1位を占めている。

平成23年のがんによる死亡数は3,454人で、昭和55年から平成23年までの30年間で約2倍の増加となるなど、増加傾向が続いている。

#### ●主要死因別死亡数の年次推移



(人口動態統計)

平成23年の部位別がん死亡者数は、肺がん(659人)が最も多く、次いで胃がん(504人)、大腸がん(440人)の順になっている。

部位別がん死亡数を、昭和60年と比較すると、肺がん、肝がんが約2.5倍、大腸がん、乳がんが約2倍となっているが、胃がん、子宮がんはほぼ横ばいで推移している。

#### ●部位別がん死亡数

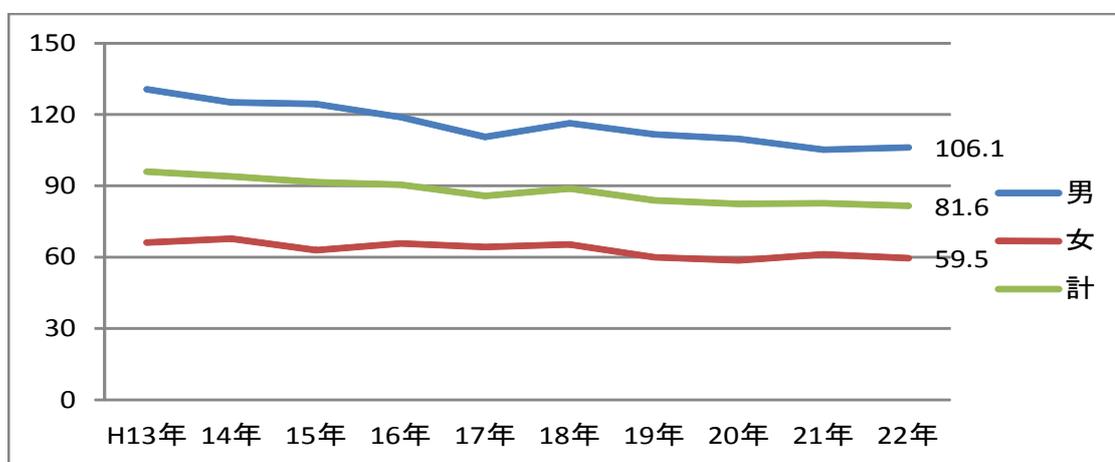
	人						
	肺	胃	大腸	肝臓	膵臓	乳房	子宮
昭和60年	285	554	188	172	107	59	47
平成7年	456	506	324	243	182	80	34
平成12年	518	531	351	279	211	95	43
平成17年	620	567	372	266	214	97	42
平成22年	750	540	422	275	271	116	31
平成23年	659	504	440	264	306	99	50

## (2) 年齢調整死亡率

① 平成22年の本県のがん年齢調整死亡率(75歳未満・男女計)は81.6で、年次推移をみると、男女とも全国より低く推移しており、年々減少傾向にある。

### ●がん年齢調整死亡率(75歳未満)

		H13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年
男	県	130.6	125.1	124.4	118.9	110.6	116.4	111.6	109.8	105.2	106.1
	全国	134.4	130.0	126.8	126.0	122.1	118.3	116.4	114.0	109.8	109.1
女	県	66.1	67.7	62.9	65.7	64.3	65.3	60.0	58.6	61.2	59.5
	全国	69.8	67.4	65.9	67.0	65.6	64.3	63.2	62.9	61.3	61.8
計	県	96.0	94.0	91.5	90.4	85.8	88.9	83.9	82.4	82.7	81.6
	全国	100.3	97.0	94.7	94.9	92.4	90.0	88.5	87.2	84.4	84.3



(国立がんセンターがん対策情報センター)

② 平成23年の部位別年齢調整死亡率(人口10万人対。以下同じ。)の順位は、男性は肺がんが、女性は大腸がんが第1位となっている。

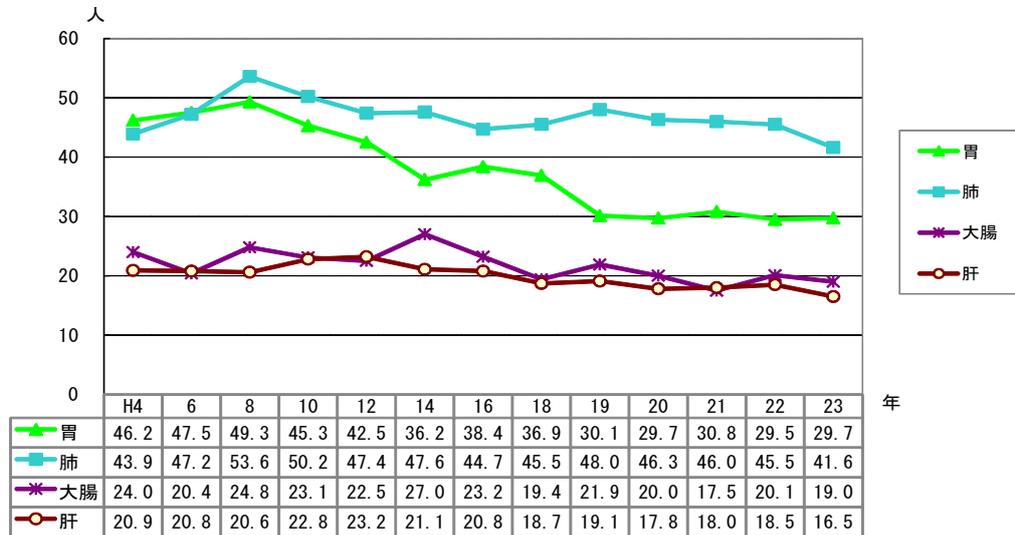
### ●部位別がん年齢調整死亡率の順位

		1位	2位	3位
男	石川県(H23)	肺がん(41.6)	胃がん(29.7)	大腸がん(19.0)
	全国(H23)	肺がん(41.7)	胃がん(27.4)	大腸がん(21.5)
女	石川県(H23)	大腸がん(11.3)	肺がん(11.0)	胃がん(10.9)
	全国(H23)	大腸がん(12.1)	—	肺がん(11.4)
		乳がん(12.1)		

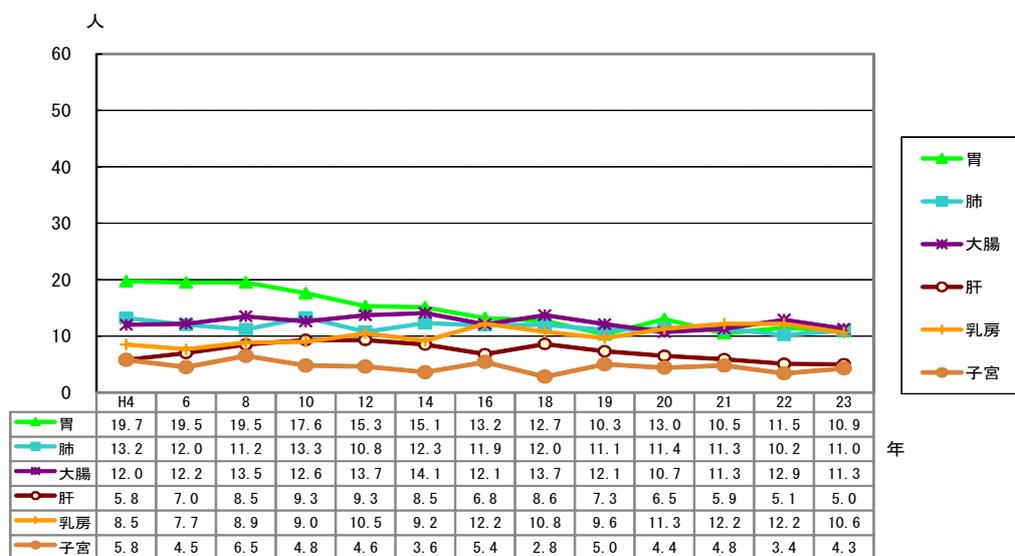
③ 部位別のがん年齢調整死亡率の年次推移を見ると、男女ともに胃がんは減少傾向であるが、他は概ね横ばい傾向である。

●がんの部位別年齢調整死亡率の年次推移

男



女



\*年齢調整死亡率：高齢者が多い地域ほど死亡率が高くなり、通常の死亡率（対象疾患死亡数÷対象地域の人口）では、異なる年齢構成の地域同士を比較することができないため、昭和60年モデル人口を基準人口として算出した値

## 2 罹患の状況

本県の部位別がん年齢調整罹患率\*の順位は、男性では胃がんが、女性では乳がんが第1位となっている。

### ●部位別がん年齢調整罹患率（人口10万対）の順位

		1位	2位	3位
男	石川県(H21)	胃がん(91.4)	肺がん(77.2)	大腸がん(64.9)
	全 国(H19)	胃がん(78.9)	肺がん(61.6)	大腸がん(74.2)
女	石川県(H21)	乳がん(83.0)	大腸がん(39.3)	子宮がん(36.4)
	全 国(H19)	乳がん(73.4)	大腸がん(41.0)	子宮がん(37.6)

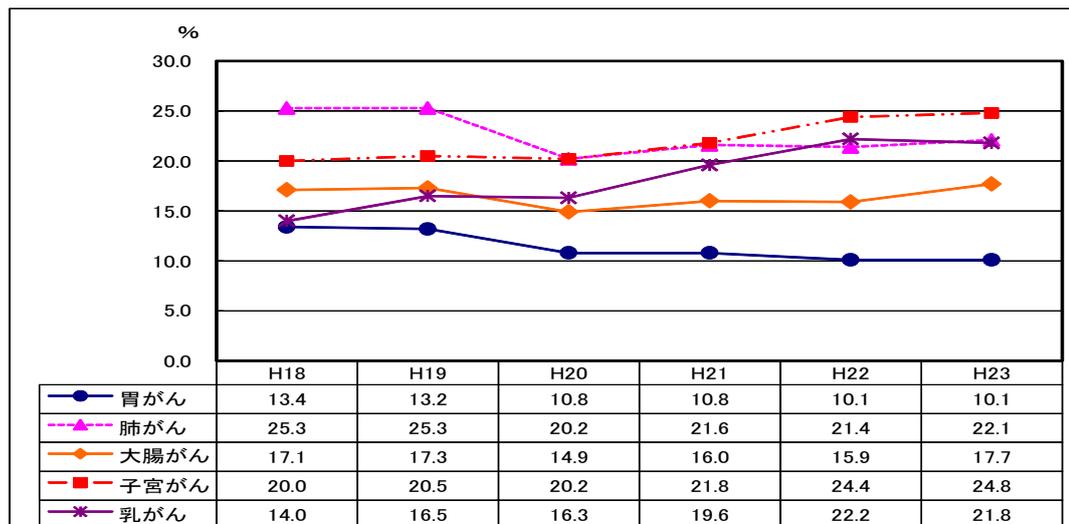
(石川県におけるがん登録：平成21年標準集計)

## 3 がん検診受診率

本県の市町が実施するがん検診の受診率は、全国より、概ね高く推移しているものの、近年横ばいの状況である。

種類別では、肺がん、子宮がん、乳がんの受診率が高く、胃がんが低くなっている。

### ●市町のがん検診受診率の推移



(参考) 全国のがん検診受診率

	H18	H19	H20	H21	H22
胃がん	12.1	11.8	10.2	10.1	9.6
肺がん	22.4	21.6	17.8	17.8	17.2
大腸がん	18.6	18.8	16.1	16.5	16.8
子宮がん	18.6	18.8	19.4	21.0	23.9
乳がん	12.9	14.2	14.7	16.3	19.0

(地域保健・老人保健事業報告)

※年齢調整罹患率：がん罹患率とは、罹患数を対象地域の人口で割ったものであり、通常は1年間の10万人あたりの罹患数で表される。年齢調整罹患率は、昭和60年モデル人口を基準人口として算出したもの。

## 4 がん医療

### (1) がん医療提供体制

本県では、「石川県医療計画」に基づき、がん診療連携拠点病院等の整備を行ってきた。

#### ① がん診療連携拠点病院

がん診療連携拠点病院については、平成19年1月に県内5つの病院が国から指定を受けた。

◎本県のがん診療連携拠点病院

・県がん診療連携拠点病院

金沢大学附属病院

・地域がん診療連携拠点病院

石川県立中央病院（県全域） 国立病院機構金沢医療センター（石川中央）

金沢医科大学病院（能登北部・能登中部） 小松市民病院（南加賀）

がん診療連携拠点病院では、手術のほか、放射線治療、化学療法を組み合わせた高度かつ専門的ながん診療を行うほか、医療従事者に対する研修やがん患者・家族に対する情報提供や相談に応じるための相談支援センターの設置、院内がん登録の推進などの機能強化を図っており、患者がどこに住んでいても、質の高いがん医療が受けられることを目指した体制整備が進められている。

また、平成19年5月に県拠点病院である金沢大学附属病院に「石川県がん診療連携協議会」が設置され、同協議会が作成する医療従事者を対象とした研修計画をもとに、放射線治療を含めた集学的ながん治療を行う専門医や専門スタッフを養成するための研修やがん登録データの分析、相談支援センター活動に関する情報交換など分野別に事業が進められている。

#### ② 地域がん診療連携協力病院・地域がん診療連携推進病院

県は、地域がん診療連携協力病院（以下「協力病院」と略す。）及び地域がん診療連携推進病院（以下「推進病院」と略す。）を「石川県医療計画」の「専門的ながん診療を行う医療機関」として位置づけ、身近な環境でより質の高いがん医療を受けることができるよう、平成23年4月に協力病院2病院、推進病院7病院を指定した。

◎石川県地域がん診療連携協力病院

公立能登総合病院、恵寿総合病院

◎石川県地域がん診療連携推進病院

芳珠記念病院、金沢市立病院、金沢赤十字病院、金沢社会保険病院、浅ノ川総合病院、石川県済生会金沢病院、公立松任石川中央病院

【指定要件】

◎地域がん診療連携協力病院・地域がん診療連携推進病院

- 1 がん拠点病院と連携し、専門とするがんに関して、手術や化学療法など、がん拠点病院と同様の専門的ながん医療を提供（ただし、放射線療法については、他の医療機関との連携による提供可）
- 2 外来において緩和ケアを提供できる専門チームの設置
- 3 がん拠点病院が実施する研修に協力するとともに積極的に参加
- 4 院内がん登録の実施と地域がん登録への協力
- 5 診療実績として、年間の新入院患者数が延べ400人以上

※ ただし、地域がん診療連携協力病院は下記の要件を追加

- 1 当該2次医療圏域にがん拠点病院がないこと
- 2 がん拠点病院と連携し、我が国に多い5大がんを中心として、放射線療法を含め、がん拠点病院と同様の専門的ながん医療を提供
- 3 外来化学療法室の設置
- 4 医師を対象とした緩和ケア研修の実施
- 5 相談支援センターの設置と専門的な研修を修了したスタッフの配置



# 石川県のがん医療対策

**石川県がん診療連携協議会**  
(事務局: 金沢大学附属病院)

- 研修部会 (医療従事者研修)
- がん登録部会 (院内がん登録)
- 情報連携部会 (相談支援・セカンドオピニオン・クリティカルパス・緩和ケア)

**県がん診療連携拠点病院 (国指定)**

金沢大学附属病院

医療従事者研修      情報提供

**地域がん診療連携拠点病院 (国指定)**

石川県立中央病院

県全域を支援

**能登地区がん診療連携協議会**  
(事務局: 金沢医科大学病院)

小松市民病院

金沢医療センター

金沢医科大学病院

支援

**地域がん診療連携協力病院 (県指定)**

南加賀医療圏

石川中央医療圏

能登中部・能登北部医療圏 (公立能登総合病院、恵寿総合病院)

医療従事者研修      情報提供、地域連携支援

**地域がん診療連携推進病院 (県指定)**

芳珠記念病院、金沢市立病院、金沢赤十字病院、金沢社会保険病院、浅ノ川総合病院、石川県済生会金沢病院、公立松任石川中央病院

研修・支援

研修・支援

研修・支援

研修・支援

南加賀医療圏

石川中央医療圏

能登中部医療圏

能登北部医療圏

病院	診療所
薬局	訪問看護ステーション

病院	診療所
薬局	訪問看護ステーション

病院	診療所
薬局	訪問看護ステーション

病院	診療所
薬局	訪問看護ステーション

緩和ケアに関する情報提供・患者や家族向け相談支援

石川県在宅緩和ケア支援センター (石川県済生会金沢病院)

## (2) がん治療

我が国のがん治療については、胃がん等主に手術に適したがんが多かったこともあり、手術の水準が世界の中でもトップクラスであるのに対し、相対的に放射線療法<sup>\*1</sup>及び化学療法<sup>\*2</sup>の提供体制が不十分であるとともに、緩和ケアが必ずしも治療の初期段階から積極的な治療と並行して実施されていないという状況である。

### ●悪性腫瘍手術等実施件数（人口10万人対）

	実施件数	
	石川県	全国
悪性腫瘍手術	37.8	40.7
胃・大腸悪性腫瘍手術（再掲）	12.6	12.8
肺悪性腫瘍手術（再掲）	4.4	3.1
乳房悪性腫瘍手術（再掲）	5.2	5.1
子宮悪性腫瘍手術（再掲）	2.8	3.4
肝臓・胆嚢・膵臓悪性腫瘍手術（再掲）	5.1	3.8
放射線治療（体外照射法）	285.7	187.4
ガンマナイフ・定位多軌道照射（再掲）	1.7	1.4
放射線治療（密封小線源治療）	1.8	1.1

（平成23年厚生労働省医療施設調査）

### ●県内の悪性新生物手術等実施病院数

	手術			放射線治療（体外照射）	化学療法		
	胃切除術	肺悪性腫瘍手術	乳腺悪性腫瘍手術		胃	肺	乳房
南加賀	6	3	4	1	7	6	6
石川中央	19	5	14	7	17	16	17
能登中部	3	0	3	2	3	3	3
能登北部	4	0	3	0	4	3	3
合計	32	8	24	10	31	28	29

（平成23年度石川県医療機能基礎調査）

#### 【がんの専門医等】

がんの専門医認定に関しては、関係学会において、各学会独自の基準（勤務した施設や期間、経験した症例数、セミナーへの参加など）が定められ、自主的に専門医が養成されている。

- ・日本臨床腫瘍学会専門医（暫定指導医を含む。）（平成25年1月現在）  
石川県：29名 全国：2,073名
- ・日本放射線腫瘍学会認定医（平成24年9月現在）  
石川県：14名 全国：980名

<sup>\*1</sup>放射線療法：放射線を照射して、がん細胞の分裂を抑え、またはがん細胞を破壊する治療法

<sup>\*2</sup>化学療法：抗がん剤を用いて、がん細胞の分裂を抑え、またはがん細胞を破壊する治療法

- ・日本がん治療認定医機構がん治療認定医 (H24年4月現在)  
石川県：124名 全国：11,051名
- ・マンモグラフィ精度管理中央委員会認定読影医師 (H24年12月現在)  
石川県：121名 全国：12,586名

看護師や薬剤師等についても、関係団体において、専門的ながん診療に携わる看護師、薬剤師等の認定を行っているが、数はまだ少ない状況である。

- ・がん化学療法認定看護師 (H25年1月)  
石川県：13名 全国：1,005名
- ・がん性疼痛看護認定看護師 (H25年1月)  
石川県：8名 全国：631名
- ・緩和ケア認定看護師 (H25年1月)  
石川県：6名 全国：1,288名
- ・がん専門薬剤師 (H22年7月)  
石川県：3名 全国：222名

### (3) 緩和ケア

終末期のがん患者の入院治療を行う緩和ケア病棟は、石川県済生会金沢病院に28床、小松市民病院に10症整備されている。

また、平成20年に「石川県在宅緩和ケア支援センター」を石川県済生会金沢病院に設置し、緩和ケアに関する情報提供や患者・家族向けの相談支援、従事者研修会等を実施しているところである。

相談支援については、各がん診療連携拠点病院に、患者やその家族の不安や疑問に対応する相談支援センターが設置され、セカンドオピニオンの提示可能な医師の紹介等も行うなど、その機能の充実に努めているところである。